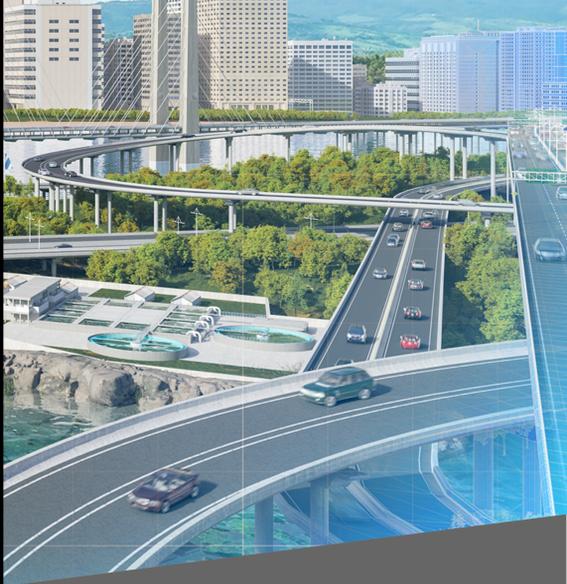


# デジタルトランスフォーメーションで生産性を向上

現在から未来までのインフラ ニーズに応えるデータ管理ソリューション

公共インフラの運営者や管理者たちは、2つの課題に直面します。まず1つ目は、公共施設の増設やメンテナンス、改修に対応すること。そして2つ目は、国民からの監視や透明性の確保などの要件を満たすことです。



## 高まり続けるインフラ ニーズ



世界人口は 2050 年までに 100 億人に達し、うち 70% が都市部で生活する見込み



世界のインフラ投資は今後 20 年間で 20 兆ドル不足

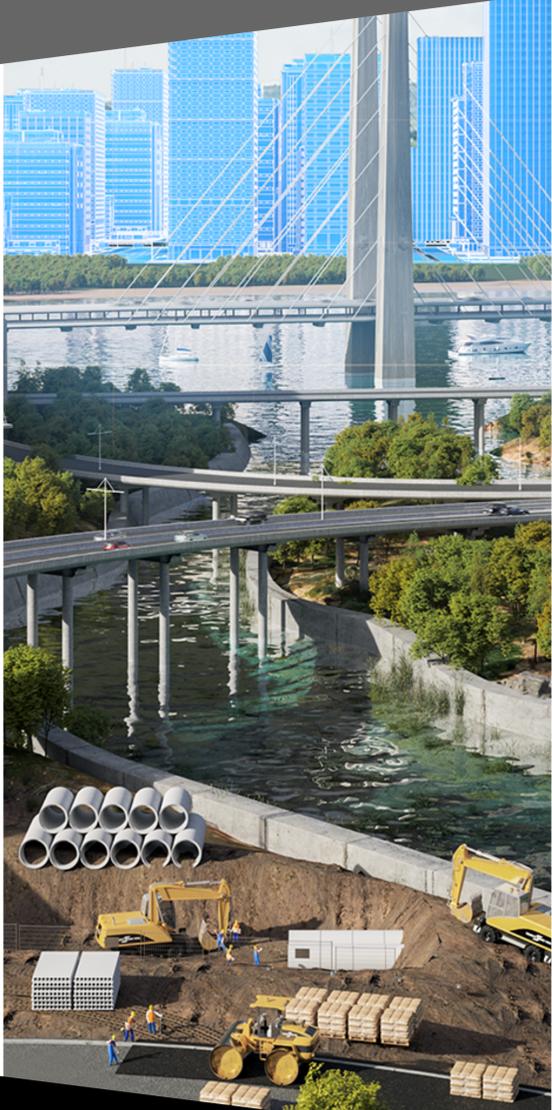


世界の水道インフラに対するニーズを 2030 年までに解決するには 1.9 兆ドルが必要

## インフラ プロジェクトをすべてデジタルトランスフォーメーション

デジタル プロセスが、インフラ ライフサイクルの全段階をサポート：

- 設計と施工の状況を明確に把握し、リスクを軽減
- 資産パフォーマンスのインサイトに基づき、投資の意思決定を行う
- 効率化によって、サステナビリティとレジリエンスの目標を達成
- 運用・メンテナンスのコストを削減し、確実に予算内に収める
- 運営者や管理者はオートデスク ソリューションを利用して、概念図や財務データなどのプロジェクト情報を簡単に共有し、説明責任や計画要件を満たす

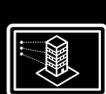


## プロジェクト ライフサイクル全体で情報を一元管理



### 計画

インフラ資産のデジタル モデルをすべて一元管理し、アクセス可能にすることで、計画における意思決定が改善します。国民に対する透明性が高まり、支持や承認が短時間で得られるようになります。



### 設計

設計チームを容易に管理し、プロジェクトの干渉チェックを行い、施工プロセスへとスムーズに引き渡すことができます。



### 施工・メンテナンス

設計者と施工者の間でモデルを共有することで、有用なインサイトが得られます。スケジュールやコストに関する変更を把握しやすくなり、予期せぬトラブルが最小限に低減します。また、最終的な竣工図を将来のプランニングに活用できます。



## 相互運用性

オートデスク ソリューションは、オープン スタandard に準拠し、業界における標準的なツール（資産管理ツールなど）をサポートしています。インフラ プランナーはソリューションを利用して、現在から未来までの計画を策定できます。

- オートデスクは Esri 社と提携し、GIS データをすべてのプロジェクトにリンクさせる機能を実現しました。
  - ArcGIS Pro と統合したワークフローで、一元管理された設計・エンジニアリング ドキュメントに直接アクセスできます。
- つながったデータ環境によって、GIS 解析チームとのコラボレーションが効率的になります。



## 透明性

インフラ プランナーは、プロジェクト ライフサイクルの全フェーズを管理し、責任範囲を定め、透明性を確保し、コストを削減する必要があります。オートデスクのデジタルソリューションが、そのすべてをサポートします。

## 計画・設計・施工向けのオートデスク ソリューション

インフラ プロジェクトのライフサイクル全体にわたるデータ アクセスやデータ管理に役立つ多彩なソリューションを取りそろえています。詳細については、オートデスクまでお問い合わせください。